

## 目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
群馬県	千代田町	赤岩	平成24年度	平成26年度	千代田町農業再生協議会

## I 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目 (必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置 及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	2経営体のうち1経営体が目標達成(達成率50%) 未達成となった1経営体は、町等を含めて、農地の斡旋等がうまくいかず、計画的な集積ができなかった。	農地中間管理事業の活用や町や農政関係機関等により、指導を実施し平成29年度までに目標を達成する。
生産コストの縮減	2経営体のうち0経営体が目標達成(達成率0%) 未達成となった2経営体は、機械導入によって、効率的な運用が図ってこれたが、コスト削減の目標には届かなかった。	館林市指導センター等の農政関係機関と連携を図り、機械の効率的な利用を進めるとともに平成29年度までに目標達成する。

## II 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用集積の観点から現状を見ると、町全体では農業者の高齢化や後継者不足をはじめとする多くの問題が山積しているため、今回の機械導入によって、赤岩地区を集積するにあたり、離農等で空いた土地を集約することができた。ただし、目標年度を超過しても1経営体分は目標達成できなかった。 今後は、農地中間管理事業の活用を促し、目標達成を目指す。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 中心経営体の育成・状況については、現在54経営体と平成24年度当初と比較すると増加しており、今後においても新規就農者が1経営体追加予定となっている。ただし、年度を重ねることにより、高齢傾向がみられ、特に地域の若手の育成に力をいれなければならないことを痛感している。 今後は、農業委員、市町村、農政関係機関の相互連携を促進し、将来の担い手確保を推進していく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 人・農地プランは、集落と地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」として、平成24年に作成した。現在の地域の中心となる担い手の状況は、経営体数が50人と2法人、経営面積が508.5haとなっており、それぞれで若干増加している。 新規に位置づける地域の中心となる担い手及び農地利用集積の状況等を十分に勘案し、町全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者への対応等その他 未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後の支援の在り方など、農政関係機関と十分に協議して、未達成者に指導していく。</p>
--

## 【記入要領】

1 Iの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。

また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。

2 IIについては、Iで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。